

# 採掘会社関係者を刑事告訴

## 詐欺罪など 「1500人から300億円集金」

タイの鉄鉱石採掘事業に出資金を募っていた採掘関連会社「ONK」（本社・タイ）をめぐる配当の遅滞や出資金が返還されないトラブルが相次いでいる問題で、出資者らが5日、詐欺と出資法違反（出資金の受け入れ制限）罪で、同社関係者に対する告訴状を警視庁に提出した。出資者側の代理人弁護士の聞き取りに対し、ONK関係者は「延べ1500人から300億円を集めた」と話しているという。

タイ国内にあるONK社の工場（出資者提供）



「ONK社日本代表」と名乗っていた男性、ONK社のタイ人社長、出資者を勧誘していたとされる男性、「ONKのジョイントベンチャーパートナー」と名乗っていた男性（左から、出資者提供） ※一部画像処理しています

ONK社側は今も、投資事業組合を立ち上げてファンド事業を展開し、出資者への配当や返金に充てることへの姿勢を崩していない。事業に疑念を抱いた出資者向

けにホームページを立ち上げ、同社の「登記簿謄本」を示すなどして同社側の主張を「代弁」してきたのが、「私はONKの代理人」と名乗っていた弁護士

### 弁護士、HPで主張代弁

### 時間稼ぎではない／必ず償還

「投資すれば必ずもうかる」「元本保証で毎月2〜3%以上の高配当を約束する」などと出資を持ちかけた、19人から計約5億円を集めていた。しかし25年6月ごろから配当の支払いが滞り、出資者が出資金の返還を求めても返金に応じなくなっていたという。

告訴状を提出したのは東京都や神奈川県に住む30〜70代の男女19人。告訴状などによると、「ONK社日本代表」と名乗っていた男性ら同社関係者は平成23年8月ごろ、出資者に対し、「投資すれば必ずもうかる」「元本保証で毎月2〜3%以上の高配当を約束する」などと出資を持ちか

出資額1000万円を複利的に運用した場合の配当シミュレーション(月利1%)

	1年後	3年後	5年後	7年後
元本	1120万円	1404万円	1760万円	2207万円
利回り	12%	43%	84%	130%
配当	134万円	168万円	211万円	265万円
累計配当	120万円	438万円	837万円	1302万円



(注)いずれもONK社側資料による

返すお金を集めるスキームを組んだわけです。昨年4月、「ONK社日本代表」と名乗る男性の代理人弁護士が、約4千万円を投じた40代の男性出資者に宛てたメールの内容だ。鉱物が出荷できず送金できなかつたため、代替策としてリファイナンス（借り換え）による資金調達を進めていると説明し、「これが時間稼ぎではないことは断言できます」としていた。

「ONK」という会社は本当に実在するのか、との疑念をお持ちの方がいるようです。そこで、ONKの登記簿謄本を添付しました。弁護士は平成26年5月、タイ語の登記簿謄本をホームページに掲載。その後「償還予定について」「リファイナンスの進捗について」と題し、「皆さまに償還できなくなる可能性は、今の時点ではほとんどないと考えています」などと、出資者を安心させるような内容の記載を連ねていた。昨年5月には、金の採掘権を有するタイ企業の買収

が完了すると伝え、金融機関からの融資もほぼ確実に受けられる状態になったとの見解を示していたが、それから1年以上たった現在も返金作業は進んでいない。

関東地方の男性出資者(40)は「弁護士ということとで信用し、何度も問い合わせたが、結局取り合ってくれなかった」と嘆く。出資者向けのホームページについて、代理人弁護士は「タイからお金が返ってくるように、(ONK社側と)どんなやりとりをしているのかということ(立ち上げた)」と説明。一方で、「全部調べて真相を明らかにしろと言われても、神様ではないのでそこまで話さない」と話した。出資者の中には出資金が返還されず、自殺まで考えた人もいる。出資者の一人は、こう訴える。

「消費者問題で実績のある弁護士だったので、最初には私たちが側に立った人だと思ったが、違った。説明責任を果たしてほしい」(大竹直樹、今仲信博)